



---

第2回協議会 2016年7月1日(金) 10:30~16:50

10:30~12:00:インタラクティブ講習会

12:00~13:00:休憩

13:00~13:05:講演紹介

13:05~14:05:招待講演

- 演者:福嶋 政期 先生(東京大学)
- 演題:情報技術を用いた情動の制御(仮)

14:10~14:40:学会参加報告

- 演者:村井 昭彦(産業技術総合研究所 人間情報研究部門)
- 演題:IEEE International Conference on Robotics and Automation

14:40~15:00:休憩

15:00~15:20:研究発表 1

- 演者:石塚 舜典 様・菅原 賢悟 先生(近畿大学)
- 演題:人体近傍における電磁界シミュレーション
- 概要:昨今、社会の動向として IoT (Internet of Things) などのキーワードが挙げられますが、この分野の中でも注目を集めている技術の 1 つが人体の生体情報を測定する人体センシングです。人体センシング機器の 1 つとして近畿大学の研究グループでは居眠り運転防止装置の研究を行っており、私はこの装置の性能向上を図るために人体の電磁界シミュレーションを応用する研究を進めております。今後、この技術を発展させていき、ブレイン・マシン・インターフェイス (BMI) 技術の確立に貢献していきたいと考えています。

15:25~15:45:研究発表 2

- 演者:平田 一郎 様(兵庫県立工業技術センター)
- 演題:伸長センサを用いた動作計測事例
- 概要:伸長により電気特性が変化する超薄型の柔軟膜センサ (以降、伸長センサ) の活用事例について報告する。伸長センサは非常に薄く伸長率も高いため、身体に貼り付けても違和感がない。そこで、伸長センサを用いて関節角度を計測する方法について検討した。「肘部に貼り付けた伸長センサの静電容量変化」から「肘の関節角度」を算出可能であるか検証するため、伸長センサ専用の計測プラットフォームとモーションキャプチャを用いて静電容量と関節角度を同時に計測して検証した。

15:45~15:50:質疑応答

15:50~16:50:運営委員会